

試験依頼番号：2020D-BT-0846

試 験 検 査 報 告 書

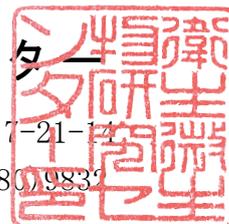
試験依頼者： ファーストメンテ株式会社
検 体： 本報告書中に記載
試験項目： 除菌試験
試験責任者： 李 新一

2020年09月25日、当センターに提供された検体について行った
試験結果は次のとおりです。

2020年10月15日

衛生微生物研究センター

〒125-0062 東京都葛飾区青戸 7-21-14
TEL 03(5680)9831 FAX 03(5680)9832



本報告書の転載につきましては当センターに事前にご連絡ください。

除菌試験

1. 試験目的

第十七改正日本薬局方参考情報の消毒剤の評価法を参考とし、検体の除菌効果を調べる。

2. 検体

ソフト酸性水 1 点

3. 試験菌

<i>Staphylococcus aureus</i> (黄色ブドウ球菌)	NBRC 13276
<i>Escherichia coli</i> (大腸菌)	NBRC 3972
<i>Escherichia coli</i> 0157:H7 (大腸菌)	JCM 18426

4. 試験方法

4-1) 試験菌液の調製

試験菌を普通寒天培地に接種し、30～35℃で24時間培養後、生理食塩水を用いて菌数が 10^8 CFU/mLになるように調製したものを試験菌液とした。

4-2) 試験試料の調製

検体を試験管に10 mL分注したものを試験試料とした。

4-3) 試験菌液の接種および培養

試験試料に試験菌液を 0.1 mL 接種し、20～25℃で静置した。

4-4) 生菌数測定

接種 15 秒後に、試験試料の 10 倍希釈系列をレシチン・ポリソルベート 80 添加ソイビーン・カゼイン・ダイジェスト液体培地で調製したものを試験液とした。これら試験液をレシチン・ポリソルベート 80 添加ソイビーン・カゼイン・ダイジェスト寒天培地に接種し、30～35℃で 48～72 時間培養した。

培養後、形成された集落をカウントし、生菌数を算出した。

また、滅菌リン酸緩衝生理食塩水をコントロールとし、同様に試験を行った。

5. 試験結果

検体の除菌試験結果を表 1～3 に示した。

表 1. 検体の *Staphylococcus aureus* に対する除菌試験成績

試験試料	初発菌数 (CFU/mL)	生菌数 (CFU/mL)	
		15 秒後	
		平均値	各測定値
ソフト酸性水	2.2×10^6	$< 10^1$	$< 10^1$ $< 10^1$ $< 10^1$
コントロール	2.2×10^6	1.7×10^6	1.7×10^6

コントロール：リン酸緩衝生理食塩水、
 $< 10^1$ ：培養により菌が検出されない (< 10 CFU/mL)。

表 2. 検体の *Escherichia coli* に対する除菌試験成績

試験試料	初発菌数 (CFU/mL)	生菌数 (CFU/mL)	
		15 秒後	
		平均値	各測定値
ソフト酸性水	4.8×10^6	$< 10^1$	$< 10^1$ $< 10^1$ $< 10^1$
コントロール	4.8×10^6	4.3×10^6	4.3×10^6

コントロール：リン酸緩衝生理食塩水、
 $< 10^1$ ：培養により菌が検出されない (< 10 CFU/mL)。

表 3. 検体の *Escherichia coli* 0157:H7 に対する除菌試験成績

試験試料	初発菌数 (CFU/mL)	生菌数 (CFU/mL)	
		15 秒後	
		平均値	各測定値
ソフト酸性水	2.1×10^6	$< 10^1$	$< 10^1$
			$< 10^1$
			$< 10^1$
コントロール	2.1×10^6	2.9×10^6	2.9×10^6

コントロール：リン酸緩衝生理食塩水、
 $< 10^1$ ：培養により菌が検出されない (< 10 CFU/mL)。

以 上